

飛 込 競 技

◇主 催 (公財)日本水泳連盟・(公財)全国高等学校体育連盟・北海道・北海道教育委員会
栃木県・栃木県教育委員会・宇都宮市・宇都宮市教育委員会

◇共 催 読売新聞社

◇主 管 (公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部・栃木県高等学校体育連盟
栃木県水泳連盟・北海道高等学校体育連盟・(一財)北海道水泳連盟

◇後 援 スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・NHK
(公財)栃木県スポーツ協会・宇都宮市スポーツ協会

◇特別協賛 全国高体連より提示された企業

◇協 賛 全国高体連より提示された企業及び競技種目で協賛となった企業

◇期 日

- (1) 開会式 8月17日(木) 10時30分～
(2) 競 技 8月17日(木)～8月19日(土) 3日間
(3) 閉会式 8月19日(土) 16時45分(予定)

◇会 場

- (1) 開会式 日環アリーナ栃木 屋内水泳場
〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田4-1-1
(2) 競 技 同上
(3) 閉会式 同上

◇競技方法

2023年度(公財)日本水泳連盟飛込競技規則による。

ア 参加選手16名以上の競技種目は、予選を行う。

イ 予選における演技種目は、自由選択飛とする。

ウ 予選の競技順は、地域予選会における得点の低い順に行う(抽選会は行わない)。決勝進出者は予選上位12位までの選手とし、13位、14位の選手をリザーブとする。決勝進出者に棄権者が出た場合は、リザーブより繰上げを行い、12名を確保する。

エ 決勝における演技種目は、制限選択飛・自由選択飛の全種目で行う。ただし、決勝における自由選択飛演技種目は予選終了後30分以内であれば変更を認める。

オ 順位の設定は決勝の得点合計によって行う。

◇競技種目・競技日程

(1) 競技種目

ア 男子の部

- (ア) 3m飛板飛込 10演技種目
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 各群より5演技種目
(イ) 高飛込 9演技種目(6つの群より選択)
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 異群より5演技種目

イ 女子の部

- (ア) 3m飛板飛込 9演技種目
制限選択飛(難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 異群より4演技種目
(イ) 高飛込 8演技種目(5つ以上の群より選択)
制限選択飛(難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 異群より4演技種目

(2) 競技日程

公式練習日	8月16日(水)		
第1日	8月17日(木)	女子高飛込	予選
		男子飛板飛込	予選
第2日	8月18日(金)	女子高飛込	決勝
		男子飛板飛込	決勝
		女子飛板飛込	予選
第3日	8月19日(土)	男子高飛込	予選
		女子飛板飛込	決勝
		男子高飛込	決勝

※シンクロナイズド飛込競技は実施しない。

◇申込規定

1. 参加資格

- (1) 競泳競技、参加資格1の(1)～(8)に準ずる。
(9) 前記(1)～(8)の他、以下によって参加資格を得た者。

- ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。
イ 標準点数を突破した者(同点可)。
ウ 標準点数

種目	男子		女子	
飛板飛込(3m)	10演技	293.00	9演技	256.00
高飛込	9演技	259.00	8演技	231.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、全国大会開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟および加盟団体で推薦することができる。

オ 全国大会特別措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくても出場できる。

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。ただし、その理由書(特別措置申請書)を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、委員長は下記へ提出すること。

なお、届出者は当該学校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
(イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長
(ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
(エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

2. 参加制限

1校1種目3名以内とする。

3. 参加申込

【個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて】

大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関しては、大会要項の最終ページを参照すること。

(1) 申込書類

- ア 「A. 飛込(男女別)参加種目別一覧表及び学校長認知書」……(ダウンロードにより4部作成)
(ア) 会場地実行委員会事務局送付用
(イ) 都道府県高体連事務局用
(ウ) 宿泊申込書添付用

(エ) 参加校控

イ 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」……………(ダウンロードにより2部作成)

(ア) 会場地実行委員会事務局送付用

(イ) 都道府県高体連水泳専門部控用

ウ 「C. 飛込(男女別)種目別参加申込書」……………(ダウンロードにより2部作成)

(ア) 会場地実行委員会事務局送付用

(イ) 地域大会主管団体控用

ただし、地域大会における飛込競技記録(飛込報告用紙)の1通を必ず添付すること。(添付のないものは受け付けない。)

エ 「D. エントリー集計表」(Web-SWMSYSで集計・印刷したもの。2部作成)

Web-SWMSYSによるエントリーを行い、その集計・印刷した書類。

(ア) 会場地実行委員会事務局送付用

(イ) 参加校控

(2) 申込方法

(注) 申込書類A・B・Dの送付については、各都道府県の高等学校体育連盟(以下、この項においては「高体連」という。)水泳専門部委員長が一括して手続きをし、C.については地域大会飛込責任者及び(公財)全国高体連水泳専門部飛込委員会地域責任者が一括して手続きすること。

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「A. 飛込(男女別)参加種目別一覧表及び学校長認知書(以下、「A. 学校長認知書」という。)

地域大会終了後、「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページから「A. 学校長認知書」の様式をダウンロードして、4部作成する。その後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出し、返却された1部(参加校控)を保管する。

(イ) 「D. エントリー集計表」(Web-SWMSYSで集計・印刷したもの)

Web-SWMSYSによるエントリーを行い、その集計・印刷した書類を2部作成する。その後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに1部を提出し、1部(参加校控)を保管する。

イ 各都道府県高体連水泳専門部が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」

「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページから「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」の様式をダウンロードして参加申込日までに2部作成。1部は参加料振込証明書(各金融機関の振込金受取書又はATM利用明細票等)を添えて、会場地実行委員会事務局へ送付する。残り1部は各専門部の控えとする。なお、作成したデータは、会場地実行委員会事務局へメール添付して送付すること。

(イ) 「A. 学校長認知書」

各学校より提出された「A. 学校長認知書」を確認し、1部コピーをして各専門部控とするとともに、残りの4部は次の送付先へ送付・返却する。

① 会場地実行委員会事務局送付用……………会場地実行委員会事務局へ

② 都道府県高体連事務局用……………各都道府県高体連事務局へ

③ 宿泊申込書添付用……………宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ

④ 参加校控……………参加校へ

※申込期日に届かないと思われる場合には、地域大会責任者の印にて先に申し込み、後日、学校長の印にて各都道府県高体連水泳専門部委員長(部長)が正式に申し込むこと。

(ウ) 「D. エントリー集計表」(Web-SWMSYSで集計・印刷したもの)

各学校から提出された「D. エントリー集計表」を確認し、1部コピーして各専門部の控えとするとともに、残りの2部は次の送付先へ送付・返却する。

① 会場地実行委員会事務局送付用(1枚目)……………会場地実行委員会事務局へ

② 参加校控用(2枚目)……………参加校へ

ウ 地域大会主管団体が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「C. 飛込 (男女別) 種目別参加申込書」

「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページから「C. 飛込 (男女別) 種目別参加申込書」の様式をダウンロードして2部作成する。「地域大会主管団体控用」を保管するとともに、残り1部は会場地実行委員会事務局へ送付すること。

なお、作成したデータは会場地実行委員会事務局へメール添付して提出すること。

(3) 飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、既定のダイブシートに自分が行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、飛板又は台の高さ、難易度を記入して、それぞれの当該競技の前日12時00分から15時00分までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート投函箱」に入れること。なお、予選用および決勝用を必ず提出すること。

(4) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(5) 申込期限 令和5年7月27日(木)正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高体連水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高体連事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

(6) 「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページ

<http://www.koukousoutai.com/2023soutai/>

4. 参加料

(1) 1人 4,500円

(2) 納入方法

ア 参加申込と同時に各都道府県高体連水泳専門部委員長が取りまとめ、各金融機関の振込依頼書又はATM等を用いて、下記の口座に振り込むこと。

イ 振込先 大会要項参照のこと。

(3) 参加取消に伴う納入金の取り扱い

ア 参加申込期限日までの取消については返金する。ただし、振込手数料を差し引いた額とする。

イ 参加申込期限日後の取消については、返金しない。

◇引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、当該都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

◇得点(選手権校決定)

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、以下による。

各種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

1 入賞者数の多い学校

2 1位の数

3 2位の数(以下、8位までこれにならう。)

4 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校(平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する。)

5 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校

◇ドーピング検査

- (1) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。
- (2) 大会当日18歳未満の参加者は、18歳未満競技者親権者同意書を必要とする。
(様式はJADAホームページよりダウンロードすること)

◇表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。

- (1) 男女とも各種目の第3位までにメダルならびに賞状を授与し、その栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までには賞状を授与する。
- (2) 総合成績
男女とも優勝校および第2位・第3位の学校の栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までの学校には賞状を授与する。
優勝校には優勝杯を授与する。
男子 (公財)全国高等学校体育連盟会長杯・(公財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯
女子 (公財)全国高等学校体育連盟会長杯・(公財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯
- (3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。
- (4) 3大会連続で優勝した者(同一種目3連覇、シンクロは除く)を優秀選手として表彰する。
- (5) オリンピック等国際大会出場者は、3大会連続優勝した選手とは別に特別優秀選手として表彰する。

◇組合せ会議

日時：令和5年8月1日(火) 10時00分

場所：江別市セラミックアートセンター

◇公式練習の日程及び会場

期 間	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)
日環アリーナ栃木 屋内水泳場 <飛込プール>	10時00分 ～ 16時30分	7時30分 ～ 10時10分	7時30分～ 競技開始30分前 自由練習	
		競技のない時間帯及び 競技終了後から16時30分まで 自由練習(19日のみ競技終了まで)		

◇諸会議

会議名	日時	会場
組合せ編成会議	7月28日（金）～8月1日（火） 9時00分～17時00分 組合せは8月1日（火）に開催	北海道札幌手稲高等学校 202講義室 札幌市手稲区手稲前田497番地2
水泳専門部 常任委員会	8月16日（水） 11時00分～13時00分	北海道立野幌総合運動公園体育館 研修室A 江別市西野幌481番地
監督者会議	8月16日（水） 16時00分～17時30分	栃木県 日環アリーナ栃木 屋内水泳場 栃木県宇都宮市西川田4-1-1
全国高体連 水泳専門部会	8月17日（木） 18時00分～20時00分	江別市セラミックアートセンター 企画展示室 江別市西野幌114番地の5
全国高体連 飛込委員会	8月17日（木） 18時00分～19時30分	栃木県 日環アリーナ栃木 屋内水泳場 栃木県宇都宮市西川田4-1-1

◇宿泊 開催地実行委員会宿泊要項による。

◇連絡事項

- (1) プログラムの無償配布は、全国高等学校総合体育大会開催基準要項による。
- (2) 競技中の疾病、負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 引率責任者は選手の行動に対して責任を負うものとする。
- (4) 閉会式は表彰を受けるチームと開催地域選手団から編成する。（開会式については後日連絡する。）
- (5) 選手の大会期間中における本会場の開門時刻は、原則として「公式練習の日程及び会場」の使用開始時刻とする。
- (6) 駐車場については、HP掲載の注意事項を確認すること。
- (7) 大会会場の入場については、監督者会議にて連絡する。
- (8) 観覧席の地区割振り等については、別途計画し監督者会議で示す。
- (9) 会場でのプライベートテントの使用はできない。
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策については「全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針」、国、開催地自治体、中央競技団体及び業界団体が定めるガイドライン並びに競技専門部及び開催地実行委員会が示す感染症防止対策に従うものとする。
なお、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、基本方針や各ガイドラインの内容が変更されることがあるため、参加者は記載内容の変更を適宜確認すること。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。